

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	コンベンション誘致支援事業		担当部署	経済建設部 経済局 観光振興課		
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市コンベンション開催支援助成金交付要領		
基本政策(大項目)	4	活力とにぎわいあふれる鳴門づくり	事業期間	開始	平成	12年度
政策(中項目)	2	観光発信！魅力都市なると			終期	未定
(小項目)		観光				
施策	01	観光・交流のまちづくり				
基本事業	4	にぎわいと交流の創出				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 コンベンションの開催者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市内または県内で開催される会議や学会、スポーツ大会等のコンベンションのうち、市内宿泊を行うものを対象として、開催支援助成金を交付し、コンベンション誘致を図ることで市内への流入人口増大及び地域経済の活性化を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		コンベンション参加者数	10,500	11,000	11,500	12,000	12,500	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	徳島県と県観光協会が推進するスポーツ合宿の誘致に連携して取り組んだ。また、広域連携を結ぶ各地でのコンベンション開催時には、それに付随する小旅行の地として鳴門が取り上げられるよう、積極的なPR等を行うことで、対前年度比増を目指した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 助成金交付件数	14	13	14	15	16	件
	2 コンベンション関係宿泊人数	3,196	3,074	3,200	3,300	3,400	人
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	コンベンション参加者数	15,026	11,050	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		100.5	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	880	910	880	880	880	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	880	910	880	880		880
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)	196	196	196	196	196	人		
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.03	0.03	0.03	0.03		0.03	
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費	(事業費と事業にかかる人件費の合計)	1,076	1,106	1,076	1,076	1,076	千円	

【事務事業名:コンベンション誘致支援事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

<b>現在の実施状況</b>	引き続き、徳島県や県観光協会が推進するスポーツ合宿の誘致に連携して取り組む。鳴門市観光コンベンション(株)の誘致事業を精査の上、他団体の誘致事業を参考として、新規コンベンション開催の動機付けとなるように、新規開催主催者への支援制度を手厚くするなど、支援制度の見直しを図る。
----------------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	<b>1.必要性の評価</b>		<b>理由等所見欄</b>
	<b>6</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	事業廃止により、コンベンション開催件数の減少やそれにもなう交流人口の減少が危惧される。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 観光・交流のまちづくり の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	<b>2.有効性の評価</b>		<b>理由等所見欄</b>
	<b>8</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	宿泊をとまなうコンベンション支援により、コンベンション開催の動機づけとなり、交流人口の増や経済効果が見込まれる。
<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
/10			
<b>3.効率性の評価</b>		<b>理由等所見欄</b>	
<b>6</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	新規コンベンション開催にかかる支援を手厚くするなど、定例的に開催されているものと新規開催を差別化する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

<b>課題等</b>	新規コンベンション開催の動機付けとなるように、新規開催主催者への支援制度を手厚くするなど、開催支援助成金制度の改革を行うためには、コンベンション開催支援助成金交付要領の改正が必要となるとともに、コンベンション開催支援の窓口となっている鳴門市観光コンベンション(株)との調整・協議が必要となる。				
<b>今後の方向性</b>	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>2</b>
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
<b>今後の改革案</b>	実施予定時期	平成25年度 ▼ 月未定 ▼			
	どのように改革するのか	開催支援助成金制度の改革を行うために、他県・他市町村におけるコンベンション開催助成制度の研究やコンベンション開催支援の窓口となっている鳴門市観光コンベンション(株)との調整・協議をすすめる。			